



大淀地域の皆様、地域諸団体の皆様、ならびに学校関係の皆様には、平素より大淀地域生徒指導連絡協議会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。早いもので本年度も残すところわずかととなりました。例年のことながら、ニュースなどを見ると、子供たちが犠牲になる痛ましい事故や事件が散見される一年だったかと思えます。そのような凄惨な情報を見るにつけ、我々の大淀学区は皆様のご尽力もあり、大きなトラブルもなく過ごせていることに感謝の念を抱く次第であります。個人的にも3人の子供を育てる身として、安心して過ごせる地域に住まうという事は何ものにも代えがたい幸せであると感じます。産まれてすぐの子供は、外の世界に触れることもなく、家庭の中で家族によって大切に育てられます。成長して小学校に入学し、はじめて家族以外の人と交わり社会性を学んでいきます。それはいけないことや

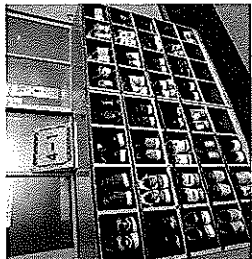
『地域、学校、保護者が三位一体となって』 大淀地域生徒指導連絡協議会 会長 藤下 洋明

大淀地域の皆様、地域諸団体の皆様、ならびに学校関係の皆様には、平素より大淀地域生徒指導連絡協議会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。早いもので本年度も残すところわずかととなりました。例年のことながら、ニュースなどを見ると、子供たちが犠牲になる痛ましい事故や事件が散見される一年だったかと思えます。そのような凄惨な情報を見るにつけ、我々の大淀学区は皆様のご尽力もあり、大きなトラブルもなく過ごせていることに感謝の念を抱く次第であります。個人的にも3人の子供を育てる身として、安心して過ごせる地域に住まうという事は何ものにも代えがたい幸せであると感じます。産まれてすぐの子供は、外の世界に触れることもなく、家庭の中で家族によって大切に育てられます。成長して小学校に入学し、はじめて家族以外の人と交わり社会性を学んでいきます。それはいけないことや



守らなければいけないルール、人としての最低限のマナーなどをゆつくりと学んでいきます。反面、一気に自分を取り巻く世界が広がります。戸惑うことも多いかと思いますが、その後、中学校に入る頃には、地域のイベントに参加したり、近所の人との関わりが増えたりと、地域社会の中の自分というものを自覚し始める年齢になります。子供たちが社会を構成する一員としてしっかりと成長するためには、子供たちを取り巻く環境というのは、非常に重要なファクターとなります。我々が暮らす大淀学区は、地域のつながりが非常に強く、良い意味で昔ながらの近所づきあいが残る恵まれた地域であると思えます。登下校時の見守り活動や自治会主催の夏祭り、防災訓練やその他さまざまなイベントに参加することにより、子供たち一人ひとりが自分の役割や居場所を実感して成長していける環境がここにはあります。それはこの地域を愛し、

大淀中学校区の地域の皆様方、子ども達を愛し育てていただき誠にありがとうございます。また、三校の教育に對しまして日頃からご理解・ご協力をいただいております。この場をお借りして感謝申し上げます。私は、校長着任の時に「今日も学校に来てよかった」とみんなが思えるような学校にしようと子ども達に話しました。分からないことが分かるようになったり、良くなったり、自分の意見が言えたり、先生に褒められたり、そんなことがあると「今日も学校に来てよかった」と思うのです。大淀中学校区では、小中一貫を進めるに当たり、①道徳教育②学力向上③自尊感情の醸成の三つを軸とする取組に掲げました。平成二十九年三月に新学習指導要領が告示され、新しい時代の必要となる資質・能力の育成や各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立等についての方針が示されました。小学校では三十三年度、中学校では三十三年度実施される道徳の時間は、①の道徳教育(全教養活動で行われるもの)を補い、深め、発展させる役割があります。三校で授業交流を重ね、研究を進めています。今年度は記述評価についての交流・実践を行い、準備を進めました。道徳教育を通して、私たち大人は、その子ども持っている資質を的確に捉え、開花させることが大切



良き年に願います

『今日も学校に来てよかった』
京都市立明親小学校 校長 安井 君江
日々の活動の中で自分の良さに気付いていない児童には「そんな風に思えた。〇〇さんって素敵ですね。」と道徳的価値の自覚を深めた姿に励ましの声をかけたものです。自己を深く見つめ、様々な道徳的価値に気付く、「そんな自分が今までの自分より好きだなあ。」と思える心が育てば、「今日も学校に来てよかった」と思えるはずですが、後期は「はきものをそろえる」という話をし、成長のためにあることを忘れず、質の高い学校づくり・質の高い教育を追及するために、信念に従って実践する覚悟をもち、余裕やかに相手を包み込む余裕のある校長でありたいものです。そして、職員が学校組織の一員として、考え行動していくことができる学校になれば、子どもも大人も「今日も学校に来てよかった」と思えるでしょう。校長としての責務は大きいですが、地域との絆を大切にし、学校と地域が一体となつて社会の宝である子ども達を育てていきますので、引き続き皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成29年度大淀地域生徒指導連絡協議会名簿

顧問		淀南連合自治会		淀南連合自治協議会		淀南社会福祉協議会	
長 西 庄 野 原 林		長 西 庄 野 原 林		長 西 庄 野 原 林		長 西 庄 野 原 林	
副 長 西 庄 野 原 林		副 長 西 庄 野 原 林		副 長 西 庄 野 原 林		副 長 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林		委員 西 庄 野 原 林	
委員 西 庄 野 原 林							

明親小学校の取組

「心のダイヤモンド」

教務主任 岡部 佳代

明親小学校では、「豊かな人権感覚を育てることが学力向上に繋がる」という考えのもと、学習指導、人権教育、生徒指導を柱として教育活動を行っております。学習指導では、長く「道徳」を核とした研究が積み上げられてきており、今年度も「他者との関わりの中で、自己の考えを深める道徳教育」によりよい生き方を目指し、互いに高め合おうとする子の育成」を研究主題として取り組んでいます。

本校の児童は、明るく素直で何事にも一生懸命取り組むことが出来る良さがあ

る一方で、ルールは守ろうとするものの、決められていないことについてはどうすればよいのかを考えずに行動してしまうこともあり課題を感じます。反対意見が少数派であつたりすると、簡単に自分の考えを変えてしまう弱さも見られます。これらは、自分の思いが認められることによつて確立する自己肯定感や自尊心が低いこと、また自分の考えが主体的ではないことが原因だと考えられます。

自己肯定感を高め、自尊心を育てるためには、自ら考え行動するための「思考力」と自分の思いや考えを言葉で表すことができる「表現力」を身に付けさせることが大切です。私たちは、それを道徳の学習を基にしていこうと考えました。つまり道徳の学習を通して自己を見つめ、互いに伝え合い議論する場を設定すれば、多様な考え方を認めるとともに、自分のよりよい生き方について考えを深めることができる力を育むことができるに違いないと考えたのです。

そこでまず取り組んだことは、全学級が1年間の最初の授業で「道徳の時間は、どんな学習をする時間なのかを考える」ことでした。「心のダイヤモンド」という教員自作の教材を全学級が使い、「拾った石がダイヤ

モンドに変わったわけを考え、自分の思いや考えを表現し、自分の思いや考えを表現・交流し「思考力」「表現力」を高めていきたいと考えています。最後に、児童主体の話し合い活動を充実させるためにも、間違えることや失敗することに対して温かく見守ることができる雰囲気づくりや、分からないことやできないことを素直に表現できた学級集団づくりを大切にしています。

今年度もあともうすかを残すのみとなり、私たちの教育実践の成果と課題を見つめる時期が来しました。「全」では明親の子どものために、「子」どもたちの心のダイヤモンドが輝くよう、取り組んで参りたいと思っています。

美豆小学校の取組

「やればできる！自分を信じて！」

人権教育主任 原 信子

美豆小学校では毎年、運動会に並ぶ大きな行事として、楽しい音楽会を実施しています。つばさ学級・一年生が友だちや先生と心を一つに力を合わせて歌や合奏を発表します。

私は美豆小学校に赴任して8年になりますが、楽しい音楽会などの学校行事を通して、学校の雰囲気が年々よくなっていると実感しています。美豆小学校の子どもたちは明るく元気で素直な子どもたちばかりです。困っている人がいたら、自分のことのように助けに行き優しいところも美豆小学校の子どもたちの自慢です。子どもたちですが、赴任し

てきた当初は自分に自信をもち、失敗を恐れるあまり一生懸命になりきれない側面もありました。どうせ自分なんてと自分自身に自信をもてない子どもたちにも、どうすれば自信をもたせられるか、とても悩みました。そしてその答えの一つが、学校全体として、みんな同じ目標に向かって音楽会に取り組むことでした。

小さな小学校での音楽の素晴らしさは、得意なことや苦手なことがそれぞれ違う、いろんな個性をもった子どもたちが、一つに調和することで美しいハーモニーを奏でるところにあります。一つの歌を歌うにして

も、歌うことが楽しくて、それを体全体で表現できる子、自分の声に自信をもてず、体が固まってしまう子など様々です。また合奏では、一・二年生は鍵盤ハーモニカ、三年生以上はリコーダーを主として行いますが、難しいと言つて諦めてしまう子も出てきます。そんな時、私たち教師が心がけたのは、「あなたは、素晴らしい力をもっている。やれば必ずできる。」と子どもを信じ励まし続けること、そして「結果が全てではない。難しいからこその一生懸命やる価値があるんだよ。」と頑張ることの意味を伝えていくことでした。

子どもたちは、私たちの教師の言葉を受け、音楽の時間、休み時間、家に帰ってから、根気よく練習に励みました。そして、できることが増えることで音楽の楽しさを感じたり、それ

を友だち、教職員・保護者の方々が自分のことのように喜ぶ姿を見たりして、自分自身への自信につなげていきました。

今年度は体育館改修工事の関係で1月（一年生はインフルエンザ流行のため2月実施）という寒い時期に行いましたが、大勢の観客の前で笑顔で力いっぱい発表する子どもたち、それを見守る保護者や地域の方々、温かいまなざしや拍手で、体育館は熱気に包ま



ていました。発表後の子どもたちからは、やりきった充実感とやればできるという自信に満ち溢れた表情を見て取ることができました。また「次の学年ではお兄さんお姉さんみたいにやってみよう」と、高学年が低学年のよい見本にもなっていました。楽しい音楽会の「楽しい」には、「自分が楽しい」「友だちと一緒にすることが楽しい」「聴いている人たちが楽しい」のたくさんの意味があることを改めて感じました。

難しいことに真剣に取り組む、自分の成長を実感できると、それが他の分野にも生きてきます。私たちはこれからも一生懸命になることの大切さ尊さ素晴らしさを子どもたちが実感できるように機会を設けていきたいと思っています。

大淀中学校の取組

「音楽の集いを通して」

教頭 油谷 昇

大淀生徒指導連絡協議会では、地域の児童生徒の健全育成を目指し、次の4つの活動目標を元に活動しています。

- ①学校、PTA、自治会傘下の諸団体との連携を深めながら、青少年の健全育成に努める。
- ②子どもたちをネット販売や薬物依存等から守るための啓発活動に努める。
- ③挨拶運動と声かけ運動に取り組み、子どもたちの規範意識の向上に努める。
- ④地域、学校の環境美化に努める。

これらの目標達成のために、校下の2小学校と連携し、地域諸団体の方々のご協力を得ながら、パトロール活動・標語ポスターの制作・クリーンキャンペーンの実施・音楽の集いの企画等に取り組んでいます。

その中で、近年より充実した取組となりつつあるのが音楽の集いです。今年は十月七日（土）に実施しました。明親小学校6年生と大淀中学校吹奏楽部が出演し、大淀中学校生徒会本部生徒が司会を務めました。

数年前までは、2小学校6年生の合唱と、大淀中学校吹奏楽部の演奏のみで、充実した取組とは言いがたい面もありましたが、明親小学校の音楽部の演奏や、小中のコラボ（吹奏楽部の演奏にあわせ、小学生が歌を披露する）の取組を加え、小中の連携を進めた取組となつてきています。またそれぞれの学校の行事で忙しい中、各校とも練習を重

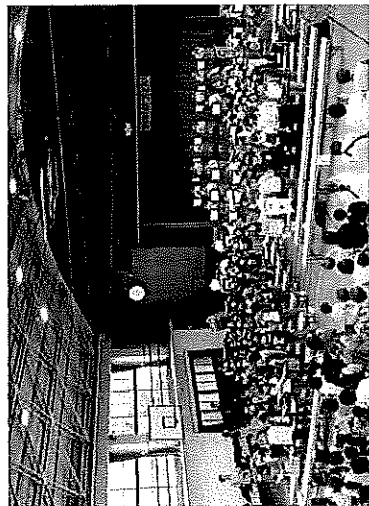
ね、内容的にもより充実したものになっています。

また、事前の打ち合わせ等で、小中の教職員の打合せも活発化し、この行事を通しての教職員の交流も進んでいます。当日は、保護者の方のみならず、多くの地域の方々もお越しいただき、温かなまなざし・声援・拍手をいただき好評を得ています。

児童・生徒にとっても、ひとつの行事に取り組み、成功させることで、自己有用感を感じる場となり、小学校と中学校の壁を越えた交流の場ともなっています。また地域の方々に温かく見守っていただいていることを肌で感じ、感謝の気持ちを抱くとともに、地域に対する誇りを持ち、地域愛も育つてきています。

実際にこの取組にあたって生徒を指導してきた大淀中学校吹奏楽部顧問は、「年に一度の取組で、リハーサル時には各校の子どもたちも緊張している様子でしたが、何回か練習をするうちに三校で素晴らしい演奏ができるようになりました。そして、心ひとつにハーモニーを届けようとする気持ちが高まり、奏情も和らいできました。本番ではお互いの歌声、演奏を聴き合い、音楽を通して会場全体がひとつになり、とても

感動的な演奏となりました。」と語っています。今後も、この「音楽の集い」をより一層充実した取組にしていくことはもちろん、これまでの他の行事についてもその内容や手法を再検討し、小学校・中学校そして地域の皆様と共に取り組める行事をひとつでも増やせればと思います。そして、行事ごとのみならず普段の生活の中でも、この淀の地域で活躍する児童・生徒の姿を見ていただけるよう、より一層取組を充実させていきたいと考えています。



音楽の集い

平成29年(2017年) 10月7日(土)

開場 13:00 開演 13:30

会場：本羽市立大淀中学校 体育館

明親小学校6年生・吹奏楽部
大淀中学校吹奏楽部

【主催】大淀地区生徒指導連絡協議会

協賛：本羽市立大淀中学校 体育館
明親小学校6年生・吹奏楽部
大淀中学校吹奏楽部

お問い合わせ：0967-77-1111